

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科				家庭	科目
教科：	家庭	科目：	家庭基礎	単位数：	2 単位
対象学年組：第	2 学年	組～	組		
教科担当者：並川	（1～8組：並川朋美）	（組：	）（組：	）（組：	）（組：
使用教科書：	（ 家庭基礎 気づく力 築く未来 ）				
教科	家庭				

	の目標：
【知識及び技能】	家庭や地域の生活は、個人、家族、社会及び環境との相互関係によって成り立っており、多面的、総合的である。社会の変化に対応しつつ主体的に生活を営む力を身に付けるためには、生活上の知識や技術を断片的に習得させるだけでなく、生活資源や生活活動などを生涯の生活設計やキャリアプランニングなどが必要であることを理解させる。生徒自身が現在及び将来の生活を自立的に営み、男女が共に協力して家庭を築いていく大切さを理解し、人と協力して生活していく技能を育てる。
【思考力、判断力、表現力等】	家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させることにより、性別や世代を超えて、男女が家族や社会の中で平等な関係を築き、共に生きる社会の一員として役割と責任を果たし、家庭や地域の生活を主体的に創造していくことが重要であることを認識した思考力、判断力、表現力を身につけさせる。
【学びに向かう力、人間性等】	衣食住生活、消費生活など生活の自立を図ることや生活の充実向上を目指した問題解決能力を身につけることができる。健康や環境に配慮した生活の実践力の育成と持続可能な社会を目指す上で必要なライフスタイルを確立できる。

科目	家庭基礎	の目標：
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
	よりよく生きていくために、生活上で必要な知識や技術を習得し、生活資源や生活活動などを生涯の生活設計やキャリアプランニングなどが立てられる。生徒自身が現在及び将来の生活を自立的に営むための知識や技能を身につける。男女が共に協力して家庭を築いていく大切さを理解し、人と協力して生活していく技能を育てる。	家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させることにより、性別や世代を超えて、男女が家族や社会の中で平等な関係を築き、共に生きる社会の一員として役割と責任を果たし、家庭や地域の生活を主体的に創造していくことが重要であることを認識した思考力、判断力、表現力を身につけさせる。
		【学びに向かう力、人間性等】
		衣食住生活、消費生活など生活の自立を図ることや生活の充実向上を目指した問題解決能力を身につけることができる。健康や環境に配慮した生活の実践力の育成と持続可能な社会を目指す上で必要なライフスタイルを確立できる。意欲的に学習することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・地球人として生活していく中で、共存を考えさせる。 ・温暖化の問題点を温暖化の実情を学びながら、生活の中でどんなことに影響しているかを考えさせる。具体的な対策方法を考えさせ、実行させる。 ・人生100年をどのように生活していくか考えさせる。少子化について考えさせる。これからの日本の現状を考える。男女平等の社会について考え、どんな社会人になるか考える。	1. 温暖化の中で生活を考える。 ①温暖化の問題点を知る ②温暖化の実情を知る ③日常生活の中で温暖化対策として自分たちができることを考えさせる。 2 家族について 将来、どのように生きていくか考える。	【知識・技能】 環境問題について理解できたか 【思考・判断・表現】 環境問題対策に自分が何ができるか考えられたか 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に取り組んだ内容 考え 態度 ノートの取り組み	○	○	○	14
	・現状の食生活を知り、人生100年が健康でいるためにによりよい食生活ができるよう考える。 ・栄養素について学び、バランスのよい食事の必要性を学ぶ。食品の特性を活かした調理の方法などを学ぶ。 ・調理実習を通して調理の基礎的な技術を身につける。 ・コロナで実習が出来ない場合、自宅で調理をして技術を磨く。 ・SDGsを知り、自分たちがしなければならないことをグループごとに考えさせる。2学期に発表をするための準備を行う。 ・夏休みにエコプロジェクトを実施し、環境に配慮した生活ができるようにする。 ・夏休みに家でお料理をして実践活動を行う	1 食生活 ①健康をつくる食生活とは ②栄養素のはたらき ③食品の安全性 ④食事摂取基準・食品群別摂取量を知る ⑤食品の栄養・調理の特徴 ⑥調理実習（1回） 2 SDGsを学ぶ 3 夏休みの課題 エコプロジェクトの実施	【知識・技能】 栄養素の特徴が理解できたか 健康でいるにはどのような生活をしていかなければならないと考えたか 【思考・判断・表現】 健康な生活について考えられたか。 食生活を見直すことができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に取り組んだ内容 考え 態度 夏休みの宿題の取り組み状況 ノートの取り組み 提出物のとり組状況	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	・SDGsの発表を通して世界の問題を知る。 ・南平生として何ができるか考える。 ・社会人となってからの生活費、老後の年金を知ること、家族の働き方（共働き）を考えさせる。	1 SDGsの発表 夏休みの宿題の発表 2 高齢社会の現状を知る 3 高齢社会の中で身近なこれからの生活費や老後の年金などについて学ぶ。	【知識・技能】 環境問題について理解できたか 発表技術 発表内容 【思考・判断・表現】 環境問題対策に自分が何ができるか考えられたか 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に取り組んだ内容 考え 態度 授業中やノートの取り組み 夏休みの宿題の取り組み内容 発表技術 態度	○	○	○	12
	・高齢者の特徴を学び、今から行える健康法を学ぶ。 ・介護保険を学び、活用できるようにする。 ・消費者問題を学び、18歳成人で困らないようにする ・住まいの役割について考え、住まいや住まい方の多様性について理解を深める。 ・住まい・住環境と健康・安全との関係を理解し、シックハウス症候群や防犯・防災などについて問題意識を持つ。老後の住宅について住み替えを含み考えさせる。	1 高齢者の特徴を学ぶ。 2 介護保険を学ぶ 3 消費社会 ①情報科の中での消費生活 ②契約 ③クーリングオフ 4 住まい ①心地よい住まい ②住まい選びの視点 ③間取り ④老後の住まい	【知識・技能】 高齢者、介護保険、年金、消費者問題、住居について理解できたか 【思考・判断・表現】 高齢者、介護保険、年金、消費者問題、住居の問題や課題、生活していく上で自分が何ができるか考えられたか 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に取り組んだ内容 考え 態度 授業中やノートの取り組み	○	○	○	14
	染料の種類・染色の方法、染色技術などを学ぶことにより、衣服を購入する時の観点を養う。 日本の伝統文化である、和服の染め方や織物に関心が持てるようにする。	被服実習 染色 お弁当の風呂敷を染めよう	【知識・技能】 染色方法について理解できたか 【思考・判断・表現】 染め物を通して自分の想像力を発揮できたか 思ったような物に染めることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に取り組んだ内容 考え 態度 授業への取り組み ノートの取り組み	○	○	○	4

	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	・子どもの発達の特徴を学び、適切に育てられる能力を身につける。 ・子どもにとっての遊びの重要性を学ぶ。 ・少子化での子育ての問題点を理解する。 ・小さい子どもが電車などで泣いて困っている保護者を応援できるように、プラバンチャームを作り、みんなで見守ろうと言う取り組みを実施する。 ・絵本が子育ての中で重要性をしめていることを認識させる。	2子育て ①子どものからだと心の発達 ②子どもと遊び ③子どもの生活 ④親になるということ ⑤子育て応援プロジェクトの実施 ⑥絵本の大切さ				10	
						合計	
						70	